

【第 76 回分析化学討論会 発表形式】

主題講演への講演申込多数のため、公募による主題講演の講演時間を 20 分から 15 分（講演 12 分、討論 3 分）へ変更いたしますので、ご了承ください。

1. 討論主題（主題講演） 15 分（講演 12 分、討論 3 分）
 - 1-1. 2030 年の分析化学
 - 1-2. 分析化学を支える「マイクロ・ナノ」～「マイクロ・ナノ」を基盤技術とした分析化学の新潮流と将来展望～
 - 1-3. 柔軟な界面を利用した分析化学
 - 1-4. マススペクトロメトリー分析化学の新潮流
 - 1-5. ノンコーディング RNA の最先端分析手法にせまる
 - 1-6. 今、そして将来必要とされる環境分析化学とは？：無機及び有機分析の観点から
 - 1-7. 医療貢献を目指した分析化学
 - 1-8. 分離手法と分離対象の拡張
 - 1-9. 分析化学と犯罪捜査
 - 1-10. 化学センサーの新展開
 - 1-11. 前処理とフローアナリシス
2. 一般講演（口頭発表） 15 分（講演 12 分、討論 3 分）
3. 一般講演（ポスター発表） 90 分（コアタイム）
4. 若手講演（ポスター発表） 90 分（コアタイム）
5. テクノレビュー講演（口頭発表） 30 分（講演 25 分、討論 5 分）
6. テクノレビュー講演（ポスター発表） 90 分（コアタイム）
7. 産業界交流ポスター講演（ポスター発表） 90 分（コアタイム）

【第 76 回分析化学討論会 講演分類】

- 01：原子スペクトル分析（ICP-MS を含む）
- 02：分子スペクトル分析（吸光分析法，蛍光・リン光分析法，赤外・ラマン分析法など）
- 03：レーザー分光分析（フォトサーマル・レーザー励起発光，顕微分光，非線形分光など）
- 04：X 線分析・電子分光分析
- 05：放射化学分析
- 06：NMR，ESR，磁気分析
- 07：電気化学分析
- 08：センサー，センシングシステム
- 09：熱分析
- 10：有機微量分析（元素分析を含む）
- 11：質量分析
- 12：マイクロ分析系（マイクロチップ，マイクロ分離システム，一分子検出系など）
- 13：フローインジェクション分析
- 14：液体クロマトグラフィー
- 15：ガスクロマトグラフィー
- 16：電気泳動分析（キャピラリー電気泳動システム）
- 17：溶媒抽出法，固相抽出法，イオン交換系
- 18：分離・分析試薬の設計
- 19：分析化学反応基礎論（平衡論，速度論）
- 20：データ処理理論（ケモメトリックス，パターン認識，コンピューター利用など）
- 21：標準試料
- 22：サンプリング，前処理
- 23：界面・微粒子分析（液液系，固液系，ナノ粒子，SPM など）
- 24：宇宙・地球に関する分析化学（天体，大気，河川・海洋，土壌など）
- 25：地球環境関連分析（環境汚染物質，環境放射能，粉じん，生体影響物質，食品など）
- 26：無機・金属材料分析
- 27：有機・高分子材料分析（有機・無機複合体材料を含む）
- 28：生体関連物質分析・医薬品分析・臨床化学分析・法科学分析
- 29：バイオ分析（核酸，遺伝子，タンパク質，細胞，免疫アッセイ，POCT など）
- 30：その他